

摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程

平成29年度 フォローアップ研修



メインテーマ

看護実践のリフレクションを通して、明日からのヒントをつかもう！

日時：平成29年度7月7日（金） 参加者82名 <担当6期生>

【午前の部】 9:00~11:00 事例・活動報告 6グループで発表の後、代表者を選び全体発表

フォローアップ研修の参加資格は事例発表、活動報告のいずれかで演題申し込み、抄録を提出することです。患者さんに寄り添いつつ摂食嚥下障害看護に

挑み、苦悩し、共に喜ぶ看護の報告がありました。表彰は、以下の方でした。抄録集には、それぞれの看護

実践の宝物が蓄積されており、ぜひ一読下さい。



最優秀賞	金志純	(2期)	「重度の摂食嚥下障害を持つ成人脳性麻痺患者へのアプローチ	(敬称略)
優秀賞	定松ルリ子	(6期)	「在宅における食事形態調整の難しさ」	
敢闘賞	大坪千智	(5期)	「食べない認知症患者へのアプローチ～認定看護師のコラボレーション～」	
	田平佳苗	(6期)	「胃瘻は嫌だ！」食べて元気になりたい思いを支援した関わり	
	黒澤絵理	(4期)	喉頭亜全摘術後の嚥下障害	
	藤田百合子	(6期)	「重症な呼吸器疾患患者に他職種と連携し、食事摂取が可能となった事例」	
ヒューマンケアリング賞	宮田米里子	(3期)	大腿骨近位部骨折患者は術前から摂食嚥下機能は低下しているか？	

【事例・活動報告 アンケート結果】 回収計76名

- 1) 大いに参考になった49名(64%) 2) 参考になった25名(32%) 3) 少し参考になった2名(3%)
4) 参考にならなかった0名(0%) 無回答) 0名(0%)

意見/理由【原文のまま】

- ・活動報告を聞いて参考になることは取り入れようと思ったので、いつも勉強になります。
- ・他のCNが介入したケースについて報告を聞いて、今後の介入の必要性、道しるべとなった。
- ・同じ環境で活動している人の発表が聞けたので今後の自分の方向性が少し見えた。
- ・活動に対するヒントやケアの介入の仕方のヒントを得た。
- ・臨床における具体的な悩みや活動方法を聞くことができた為。
- ・事例発表では同じ疾患に活用できる。活動報告では認定の動き方、在り方について活用できる。
- ・修了者の活動を知ることによって、参考にできそうなことがたくさんあった。



【午後の部】

13:30 ~16:00 「もっと、スキルアップを！」

スクリーニング評価から段階的スキルアップの技 講師 竹市美加先生

例年特別講義は、認定看護師のスキルアップとして講義+演習です。今年は1期生で在宅で活躍中の竹市美加さんを講師に迎えました。スクリーニングだけでは、食べられない！対象者のニーズに添って能力を引き出し、効果的な訓練やケア方法を選択する。そして早期経口摂取につなげる＝スキルを、みんなで学びあいました。演習サポーターは、近藤泰子さん、金志純さん、宮田江里子さんでした。



16:00 ~16:30 まとめ会 全員集合の記念写真！



再会を喜び、
学びを共有
できる、かけ
がえのない
仲間！

年々認定看護
師の実践力や
活動内容がア
ップして！
この先どんな
看護が創造さ
れるのか！見
逃せません！

【特別講義 アンケート結果】

1) 大いに参考になった52名(68%) 2) 参考になった19名(25%) 3) 少し参考になった1名(1%) 4) 参考にならなかった0名(0%) 無回答)4名(5%)

意見/理由【原文のまま】一部です。

- ・自分を見直すことができました。一からやり直します。 ・実習形式で、とても勉強になった。
- ・CNとは何か？をもう一度考えることができた。スキルUPになった。
- ・自分のスクリーニングの実際がわかり、改善点があった。スプーンの入れ方が勉強になった。
- ・もっともっとPTさんのために・・・もう一度復習する機会をいただき感謝しています。
- ・現場では誰も指導してくれないので、自分の悪い部分がよく分かった。
- ・動画での事例紹介がとても分かりやすかったです。
- ・病院では同分野の認定看護師がいなかったため、自分の技術や教え方について評価が出来ない為。具体的な事例と動画があり分かりやすかった。